

公益財団法人木村看護教育振興財団主宰 看護に関する講演会 開催実績一覧

開催年度 (開催地)	講演者 講演タイトル
○平成29年度 第74回 (東京)	<p>「未来を拓く 看護の力」 —地域の人々の暮らしを支える医療看護介護の取組みを注目事例から学ぶ—</p> <p>講演1 喜多悦子 公益財団法人笹川記念保健協力財団 会長 ジョーンズ・ホプキンス大学 公衆衛生大学院 シニア・アソシエイト 日本赤十字九州国際看護大学 名誉学長 「在宅看護起業ナースの育成と支援—地域社会のハブセンターをめざすナースを支える夢—」</p> <p>講演2 Maren Johnson Nurse Manager, Medical ICU Team, Mayo Clinic Instructor in Nursing, College of Medicine 「Mayo Clinic Health System: A Fusion of Innovation and Values」</p> <p>パネルディスカッション 「地域医療看護の展開 —在宅クリニック・訪問看護ステーション・看護小規模多機能の連携例、 大学病院・地域医療機関間交流・支援の例—」</p> <p>三輪恭子 よどきり医療と介護のまちづくり株式会社 取締役 (座長) 地域看護専門看護師</p> <p>遠矢純一郎 桜新町アーバンクリニック 院長</p> <p>片山智栄 同クリニック ナースケア・ステーション 所長 同クリニック ナースケアリビング世田谷中町 (看護多機能施設) 所長</p> <p>井川順子 京都大学医学部附属病院 病院長補佐・看護部長 同病院 看護職キャリアパス支援センター センター長</p> <p>幸野里寿 同病院 看護職キャリアパス支援センター 特定助教・看護師</p> <p>村上洋子 綾部市立病院 副看護部長</p> <p>高橋嘉宏 同病院 看護師</p> <p>山田美恵子 京都大学医学部附属病院 看護師長</p> <p>鬼塚徳子 同病院 副看護師長</p> <p>Melissa Bitz Clinical Nurse Specialist, Gastroenterology, Mayo Clinic Instructor in Nursing, College of Medicine</p>
第73回 (山形)	<p>島田恵 首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 看護科学域 准教授 「外来看護—地域包括ケア時代の外来看護をプロデュース—」</p>
○平成28年度 第72回 (富山)	<p>宮崎和加子 前・一般社団法人全国訪問看護事業協会 事務局長 一般社団法人だんだん会 理事長 「在宅療養推進における看護の連携」</p>
第71回 (東京)	<p>「未来を拓く 看護の力」 —地域医療構想を学ぶとともに地域における医療看護介護の推進に取り組む—</p> <p>講演1 松田晋哉 産業医科大学 医学部 公衆衛生学 教授 産業保健データサイエンスセンター長 「地域医療構想をどう策定するか」</p> <p>講演2 Liz Boldon Nursing Education Supervisor, Mayo Clinic Instructor in Nursing, College of Medicine 「Mayo Clinic Healthcare System: Past, Present and Future」</p> <p>パネルディスカッション 「地域医療・看護の充実にに向けた取組みと看護教育を考える」</p> <p>山田雅子 聖路加国際大学大学院 看護学研究科 教授 (座長)</p> <p>片山智栄 桜新町アーバンクリニック ナースケア・ステーション 所長</p> <p>柳澤美津代 東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護部長</p> <p>都築晃 藤田保健衛生大学 地域包括ケア中核センター 医療科学部リハビリテーション学科 講師</p> <p>小島菜保子 藤田保健衛生大学 地域包括ケア中核センター 藤田保健衛生大学訪問看護ステーション 管理者・看護科長</p> <p>Sherry Wolf Clinical Nurse Specialist, Mayo Clinic Assistant Professor of Nursing and Oncology, College of Medicine</p>
○平成27年度 第70回 (佐賀)	<p>村松静子 在宅看護研究センター L L P 代表 「元気に生き抜く」を支える —その人らしさを大切に—</p>

第69回
(東京)

「未来を拓く 看護の力」—地域における医療・看護の推進と看護教育 PART II—

講演1 秋山智弥 京都大学医学部附属病院 病院長補佐・看護部長
看護職キャリアパス支援センター センター長

「医療機能の垣根を越えて、“まもり・とどけ・つなぐ”看護職へ！」
—京都府『看護職連携キャリア支援事業』経過報告—

講演2 Pauline Abraham Nursing Education Specialist, Mayo Clinic
Instructor in Nursing, College of Medicine

「Population Health Management」

パネルディスカッション

「地域医療・看護の充実にに向けた取組みと看護教育を考える」

山田雅子 聖路加国際大学 看護学部 教授 (座長)

椎名美恵子 有限会社ふれすか 代表取締役、訪問看護ステーションみけ 所長

佐々木久美子 医療法人財団慈生会野村病院 看護部長

宮下恵里 社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 看護部長

Kristina Pearson Clinical Nurse Specialist, Mayo Clinic

Instructor in Nursing, College of Medicine

○平成26年度
第68回
(東京)

「未来を拓く 看護の力」—在宅医療・看護の充実と看護教育のあり方—

講演1 大島浩子 国立長寿医療研究センター 長寿看護・介護研究室長

「平成24年度在宅医療連携拠点事業による在宅医療介護連携推進の成果や課題」

講演2 Megan Pfrimmer Nursing Education Specialist, Mayo Clinic
Instructor in Nursing, College of Medicine

「Meeting the Institute of Medicine Future of Nursing Recommendations」

パネルディスカッション

「在宅医療・看護の充実にに向けた取組みと看護教育の役割を考える」

山田雅子 聖路加国際大学 看護学部 教授 (座長)

平原優美 あすか山訪問看護ステーション 統括所長

松永敏子 千葉県看護協会 前会長

長江弘子 千葉大学大学院 特任教授

三輪恭子 淀川キリスト教病院 地域医療連携センター 療養支援課 課長

Amber Stitz Clinical Nurse Specialist

Nursing Practice Resource Division, Department of Nursing, Mayo Clinic

第67回
(島根)

秋山正子 (株)ケアーズ白十字訪問看護ステーション統括所長・暮らしの保健室室長

「在宅ケアのつながる力」—どんな時でも命は輝く—

○平成25年度
第66回
(東京)

「未来を拓く 学びの力」—学びを力に、患者・家族と地域とともに—

講演1 LeAnn Johnson Nurse Administrator, Mayo Clinic

Assistant Professor of Nursing, College of Medicine

「Institute of Medicine report and the Future of Nursing (Education Focus)」

講演2 浦田喜久子 日本赤十字九州国際看護大学 学長

「体験から学び、実践に活かす看護教育—東日本大震災の経験から—」

パネルディスカッション 「継続教育の推進を通じて未来を拓く」

村嶋幸代 大分県立看護科学大学 理事長・学長(座長)

Dale Pfrimmer Nurse Administrator, Mayo Clinic

高島和歌子 熊本県看護協会 会長

森口紀子 高槻病院NICU NIDCAP Professional, IBCLC

竹森志穂 訪問看護ステーションしろかね 所長

第65回
(山梨)

紙屋克子 筑波大学 名誉教授

「奇跡が奇跡でなくなる日に向かって」—看護実践と研究の最前線—

○平成24年度
第64回
(鳥取)

松島たつ子 ピースハウスホスピス教育研究所 所長

「終末期にある患者と家族のケア」—喪失の悲しみを越えて—

第63回

岡谷恵子 東京医科大学 副学長・教授

(熊本)	「外来看護の可能性」－自律的な看護を目指して－
第62回 (宮城)	石垣靖子 北海道医療大学 客員教授 「語り」に寄り添う－緩和ケアの実践をとおして－
○平成23年度 第60回 (石川)	荒井有美 北里大学病院 医療安全管理室 医療安全管理者 「看護に必要なくすりの知識」－安全な与薬業務をするために－
第61回 (高知)	松島たつ子 ピースハウスホスピス教育研究所 所長 「終末期にある患者と家族のケア」－喪失の悲しみを越えて－
第59回 (北海道)	押川真喜子 聖路加国際病院 訪問看護ステーション 所長 「訪問看護師だからできること」－在宅の現場から－
○平成22年度 第57回 (福井)	松島たつ子 ピースハウスホスピス教育研究所 所長 「終末期にある患者と家族のケア」－喪失の悲しみを越えて－
第56回・第58回 (香川・宮崎)	石垣靖子 北海道医療大学大学院看護福祉学研究科 教授 「傍らにいる」ということ－がんとホスピスケア－
○平成21年度 第55回 (山口)	上泉和子 青森県立保健大学 副学長・教授 「経験から学ぶ、経験を生かして育てる」
第53回・第54回 (秋田・和歌山)	石垣靖子 北海道医療大学大学院看護福祉学研究科 教授 「傍らにいる」ということ－医療・福祉の基盤としての緩和ケア－
○平成20年度 第51回・第52回 (青森・鹿児島)	松島たつ子 ピースハウスホスピス教育研究所 所長 「緩和ケアの動向と看護」－今、緩和ケアに求められるもの－
第50回 (静岡)	岡谷恵子 近大姫路大学看護学部看護学科 看護学部長 「外来看護の展望」－看護の力で外来が変わる－
○平成19年度 第49回 (沖縄)	坂井慶子 オフィスMONAMI 「自分を知り、相手を理解するコーチング」－チーム医療に活かすために－
第48回 (長崎)	岡谷恵子 近大姫路大学看護学部看護学科 看護学部長 「外来看護の展望」－看護の力で外来が変わる－
第47回 (愛知)	坂本すが 東京医療保健大学保健学部看護学科 教授・学科長 「医療と看護のレベルアップのための方略」
○平成18年度 第45回 (千葉)	坂本すが 東京医療保健大学保健学部看護学科 教授・学科長 「医療と看護のレベルアップのための方略」
第44回・第46回 (滋賀・兵庫)	山崎摩耶 社団法人全国訪問看護事業協会 理事 「新介護保険制度と看護の新しい役割 18年診療報酬・介護報酬同時改定にみる臨床と在宅の連携」
○平成17年度 第42回・第43回 (徳島・岡山)	荒井有美 北里大学病院看護部 看護師 「看護職者が知っておきたい臨床薬剤知識」
第41回 (長野)	菊池令子 社団法人日本看護協会 常任理事 「診療情報提供の動向と看護職者の役割」
○平成16年度 第39回 (北海道)	菊池令子 社団法人日本看護協会 常任理事 「診療情報提供の動向と看護職者の役割」
第38回・第40回 (山形・愛媛)	押川真喜子 聖路加国際病院訪問看護科 ナースマネジャー 「医療施設からの訪問看護の実際」

- 平成15年度
第36回・第37回
(新潟・神奈川)
真田弘美 金沢大学医学部保健学科 教授
「褥瘡予防・管理の最前線」
- 第35回
(佐賀)
内布敦子 兵庫県立看護大学 助教授
「症状マネジメントの知識と技術」—患者のパワーを引き出す看護—
- 平成14年度
第33回
(三重)
内布敦子 兵庫県立看護大学 助教授
「症状マネジメントの知識と技術」—患者のパワーを引き出す看護—
- 第32回・第34回
(岐阜・岩手)
杉谷藤子 島根県立看護短期大学 名誉教授
「医療事故から学ぶ」—看護師の責務—
- 平成13年度
第30回・第31回
(島根・富山)
山崎摩耶 日本看護協会 常任理事・日本訪問看護振興財団 常務理事
「21世紀のライフサポーター」—看護がますます面白い—
- 第29回
(奈良)
金井一薫 日本社会事業大学教授・ナイチンゲール看護研究所 主席研究員
「21世紀のケアデザイン」—ナイチンゲール看護論の新しい展開—
- 第28回
(東京)
サンディ・レイノネン メイヨームディカルセンター 看護教育スペシャリスト
「看護の歴史と未来」—看護継続学習を通して課題に挑戦するために—
- 平成12年度
第27回
(京都)
カース・メリア イギリスエジンバラ大学教授・看護学科長
「看護実践と研究」—大学と臨床はいかに協働するのか—
- 第25回・第26回
(福岡・福島)
アン・デービス 長野県看護大学 教授
「終末期医療・看護の倫理的側面を考える」
- 第24回
(広島)
金井一薫 日本社会事業大学教授・ナイチンゲール看護研究所 主席研究員
「看護の専門性発揮の方向性」—病気を看護の視点でとらえること—
- 平成11年度
第22回・第23回
(群馬・鳥取)
高嶋妙子 聖隷浜松病院 顧問
「21世紀に活躍する看護職へのメッセージ」—意志ある自分づくり—
- 第21回
(大分)
季羽倭文子 ホスピスケア研究会 代表
「緩和ケア・ホスピスケアで期待される看護の専門性とは」
- 平成10年度
第19回・第20回
(茨城・熊本)
紙屋克子 筑波大学 教授
「看護における生活支援技術の理論化・体系化への道すじ」—Nursing Biomechanicsを中心に—
- 第17回・第18回
(高知・北海道)
近藤房恵 ホーリーネームズ大学助教授
「アメリカの看護の動き」—医療経済と看護への影響—
- 平成9年度
第15回・第16回
(宮城・香川)
山崎摩耶 社団法人日本看護協会 常任理事
「21世紀は看護の時代」—公的介護保険創設と看護の展望—
- 第14回
(静岡)
近藤房恵 ホーリーネームズ大学助教授
「日本の看護の展望：アメリカの看護の動向より学べること」—日米比較研究を通じて—
- 平成8年度
第12回・第13回
(石川・沖縄)
山崎摩耶 社団法人日本看護協会 常任理事
「訪問看護の展望と課題」—21世紀・看護は変わる—
- 平成7年度
第10回・第11回
(秋田・山口)
高橋美智 社団法人日本看護協会中央ナースセンター 所長
「臨床看護の課題」—看護組織運営に対する個人々の自覚と参加—
- 平成6年度
第8回・第9回
(青森・鹿児島)
南 裕子 兵庫県立看護大学 学長
「21世紀の社会に対する看護の責務」

- 平成5年度
第5回・第6回・第7回
(東京・長崎・北海道) 見藤隆子 社団法人日本看護協会 会長
「看護の未来」
- 平成4年度
第3回・第4回
(大阪・東京) ドリーン K. フルスティ メイヨー財団(メソジスト病院・セントメアリー病院) 看護部長
「看護の変革」ー北米における過去・現在・未来の動向ー
- 平成3年度
第1回・第2回
(東京・大阪) リンダ H.エイケン ペンシルバニア大学看護学部 教授
「クリニカルナーススペシャリストのアメリカ社会への貢献と養成制度について」